



### 故北白川宮能久親王 本郡の御遺蹟 (二)

#### 第三王子小松侯を迎へて

故陸軍大將大勳位北白川宮能久親王殿下の第三王子にまします小松侯爵には、記憶未だ新たな明治戊辰に圖らず、東奥に與に御かんか給ひし父君殿下が、本郡に御二泊遊ばされし時の御史蹟を探るべく、来る十八日御來町の由に付、本社は茲に本郡の光榮を紀念し奉りたく、豫ねて殿下の御遺せき研究家にして昨年平町長及び泉村長等に其の顯彰方法を献言したる諸根柢一氏に乞ひて、本文の寄稿を得たる。對し深厚の意を表するものである。

勿來生 謹記

是に於て、宮の御退せに示したるに因つて十氣愈々迫りたれば市中にも居百倍し併せて自己等の職名候ふことかなはず自證院亮をも免れんと欲し刺さへ宮央はいたく心苦しめかく宮を奥羽の盟主に乞ひて薩長の御身邊危機なる上は宮の對する回復の犬計を出で御僧衣を他に替へられ給ふんの心意である。

同月二十五日夜終ひに榎ましくも法衣と代ふるに小本艦隊の一艦長鯨丸は羽田笠原長行(肥前唐津はん主)乃ち宮には初めの御航海の醫、西川玄沖の門人になつて船中拜開するに黙々と木刀を佩き雪駄姿と變り果看書し何處とも行衛知らざて給ひ同を連れ出でられ心なる雲外萬里の方向に旅するらすも彼等に御任せ羽田沖 既假で在らせ給うた。

宮の坐乘し給へる長鯨丸浴ら延びさせ給ふ、お趣を伺はせらるに宮は今や我が身寄すべき所なく、大總督府(官軍)による亦安全を期し難し暫らく亂を東奥に避けて國內の平定を待たんとすはれるに至り、武揚長れ少くも其の御命を體し、呂を奥羽に奉ずることを明

助(現存)脚背負し上げ夫れより御徒歩にて前方一町餘の丘上に在る鈴木主水宅(現存)に至らせ給ひ少時御休憩の後ちご入浴遊ばし常の白の衣服に小袴をはかれ其の上に袷衣を着更へさせ書食を召し給うた。

天の恵 藤間林太郎 主演  
歌川八重子 小島洋々  
つづれ鳥羽玉 前篇  
金子新 大林梅子 助演  
勝見庸太郎の海洋 血の船  
大活劇  
捕物 朱房の十手  
仇討 千草香子 東良之助 助演  
十二日替り 有聲座

### 開業一週年記念!!!

ラヂオも生れて五年 漸くにして完備した 機械の精密 記念特賣

- 三球 (取附共) 金六十圓
  - 同高級品 同 金六十五圓ヨリ
  - 同高級品 同 金七十圓
  - 同高級品 同 金七十五圓ヨリ
  - 同高級品 同 金八十圓
  - 同高級品 同 金百圓ヨリ
- 電話なら二用命下さい早速取附に伺ひます  
福島縣平町南町二六  
常磐ラヂオ商會  
電話五三三番

洋食 小宴會歡迎 評判の 電話四六〇番

御酒は越後名産 飲むなら銘酒 寶山 平町土橋二八  
錦屋酒店 山野邊七郎 電話呼六六二番

夏の單衣は 品柄よく 價格の安い 三井吳服店 電話三八番 七五二番

夏ののみもの アイスクリーム ミルクセーキ ソーダ水 其の他各飲料水 氷 水 平町二丁目 電話三一九番

有聲座の割引券ありませす 丸山雜貨店 平白銀町 電話三一九番

是非必要な夏の家庭用品 夏屏風 すたれ 食卓覆 煙草盆 團扇差 團扇置 蠟こり 鉢ふた おヒツふた 蚊帳 釣手 コツプ臺 水菓子入 和久井漆器店 電話四〇五番

夏の學生服 本学年 小學生用 一七、八歳用 一圓〇錢 二八、九歳用 一圓一錢 三九、十歳用 一圓二錢 四一、十一歳用 一圓三錢 五二、十二歳用 一圓四錢 中學生用 一圓五錢 一六、十七歳用 一圓六錢 一八、十九歳用 一圓七錢 二〇、二十歳用 一圓八錢 二二、二十三歳用 一圓九錢 二四、二十五歳用 二圓〇錢 二六、二十七歳用 二圓一錢 二八、三十歳用 二圓二錢 三〇、三十二歳用 二圓三錢 三二、三十四歳用 二圓四錢 三四、三十六歳用 二圓五錢 三六、三十八歳用 二圓六錢 三八、四十歳用 二圓七錢 四〇、四十二歳用 二圓八錢 四二、四十四歳用 二圓九錢 四四、四十六歳用 三圓〇錢 四六、四十八歳用 三圓一錢 四八、五十歳用 三圓二錢 五〇、五十二歳用 三圓三錢 五二、五十四歳用 三圓四錢 五四、五十六歳用 三圓五錢 五六、五十八歳用 三圓六錢 五八、六十歳用 三圓七錢 六〇、六十二歳用 三圓八錢 六二、六十四歳用 三圓九錢 六四、六十六歳用 四圓〇錢 六六、六十八歳用 四圓一錢 六八、七十歳用 四圓二錢 七〇、七十二歳用 四圓三錢 七十二、七十四歳用 四圓四錢 七四、七十六歳用 四圓五錢 七六、七十八歳用 四圓六錢 七八、八十歳用 四圓七錢 八〇、八十二歳用 四圓八錢 八二、八十四歳用 四圓九錢 八四、八十六歳用 五圓〇錢 八六、八十八歳用 五圓一錢 八八、九十歳用 五圓二錢 九〇、九十二歳用 五圓三錢 九二、九十四歳用 五圓四錢 九四、九十六歳用 五圓五錢 九六、九十八歳用 五圓六錢 九八、一百歳用 五圓七錢

自轉車 自動自轉車 附屬品 商卸 山光堂 電話五五〇番

十二日より上映プログラム 此の際特に勉強仕り候 松竹蒲田大作 原作脚色 清水廣 柳さく子 藤野秀夫 主演 悲劇 海に叫ぶ女 助演者 國島莊一 久米順子 其他 弟の爲めに其身を賭して其の生涯を涙に送る 柳樹占久方振りに見る大悲劇です

半身 萬木英楠 尾上桃太郎 華新 勤王と佐幕新 思潮の外來雜 新開化の潜行 運動時元治元 年會津城跡に なく憂愁の士

水野十郎左衛門 監督 山口天竜 監督 長尾史録 入社第一回作 原作 中村吉松 高堂國典 巴蝶子 梅田菊造 徳川四代寛文の頃でした四谷六方白柄組水野一味と實徳を事とする町奴と意氣地を張つて 賣出した柳橋の名妓とを綴る名作